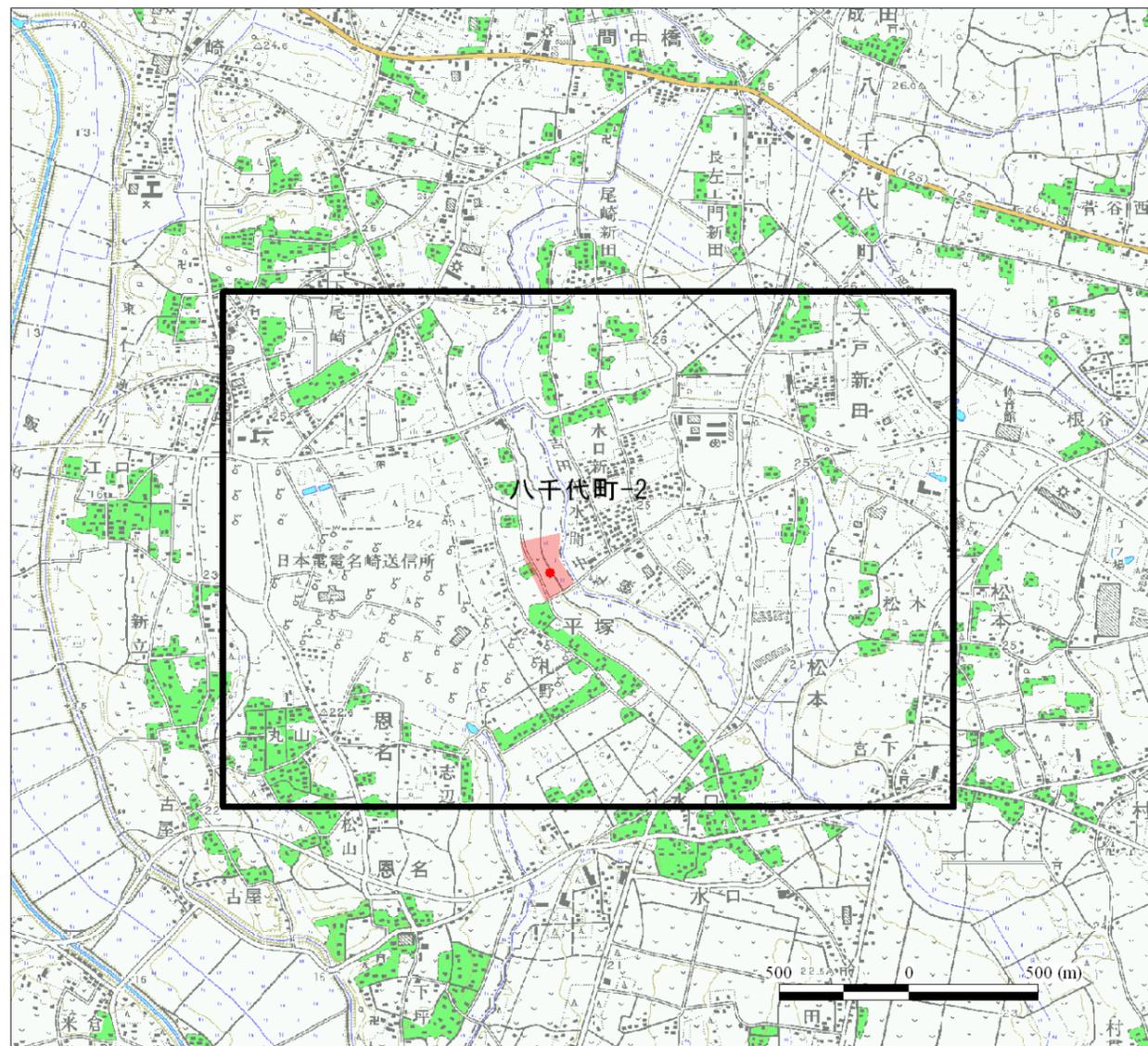
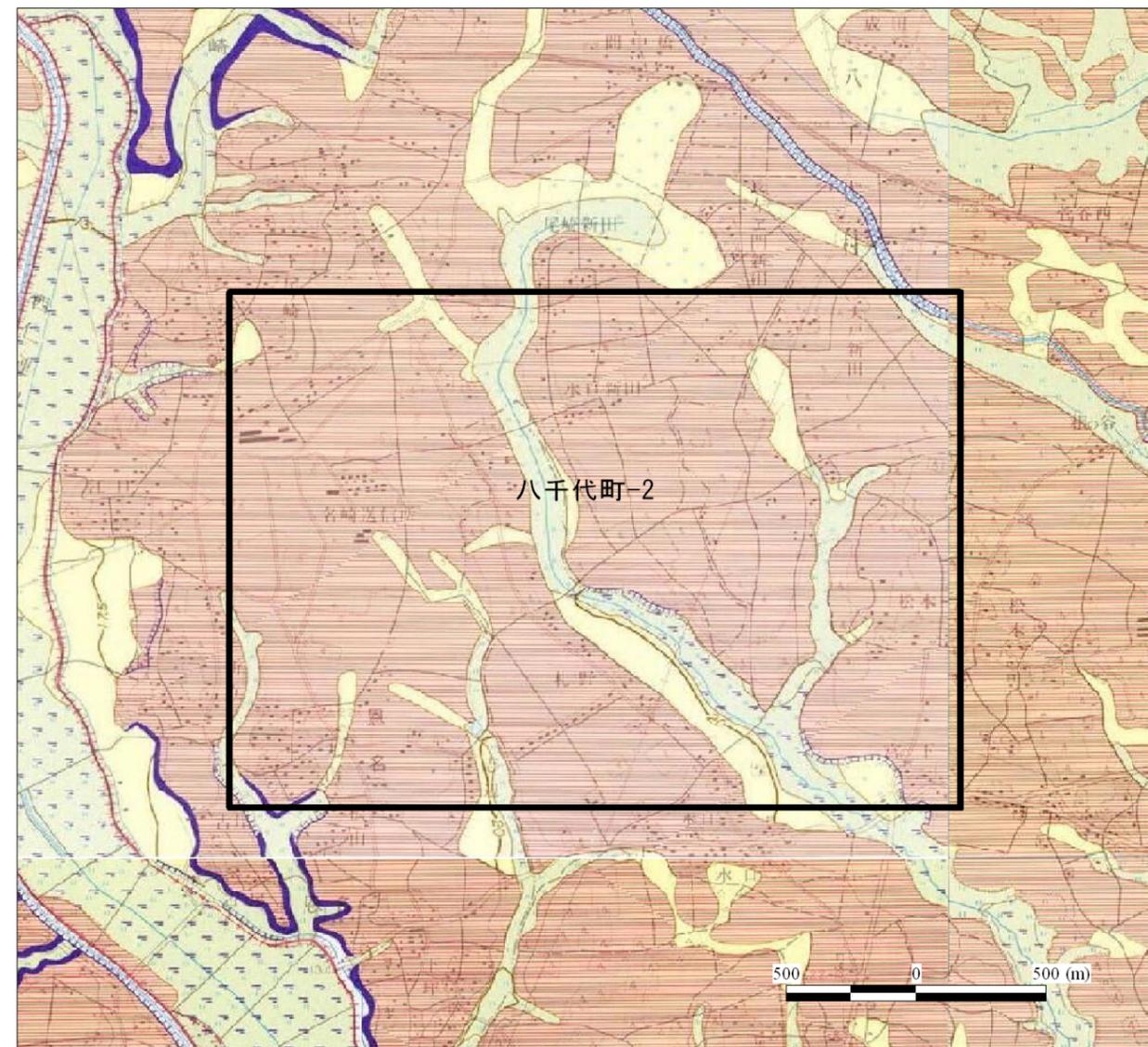


箇所名	八千代町-2	都道府県	茨城県	市区町村	八千代町	地区	平塚	1/6
発生面積	小	地形分類	旧河微高地	液状化発生履歴	液状化発生の履歴なし			
土地改変履歴	旧河微高地を造成した水田							
被害概要	地表面の亀裂、噴砂							
噴砂の状況	小	地盤の変形量(沈下、傾斜)	小			被害の程度	小	
出典・調査	東北地方太平洋沖地震による関東地方の地盤液状化現象の実態解明委員会							

平面図 (赤色は液状化、青色は非液状化を示す。面的着色は、専門家が現地調査結果に地形・地質情報等を加味して、その範囲を推定したものであり、その境界位置は厳密なものではない)

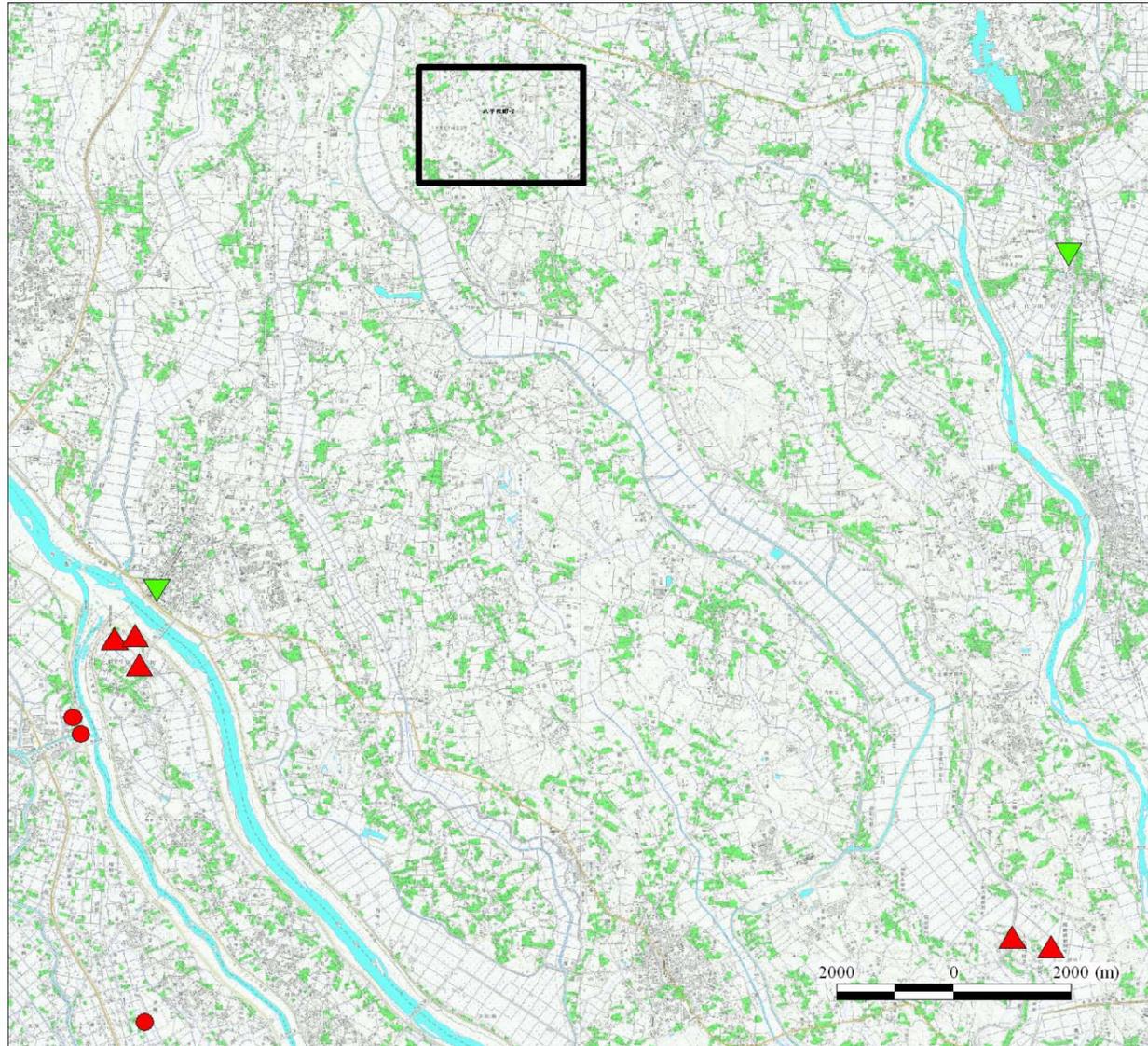


治水地形分類図

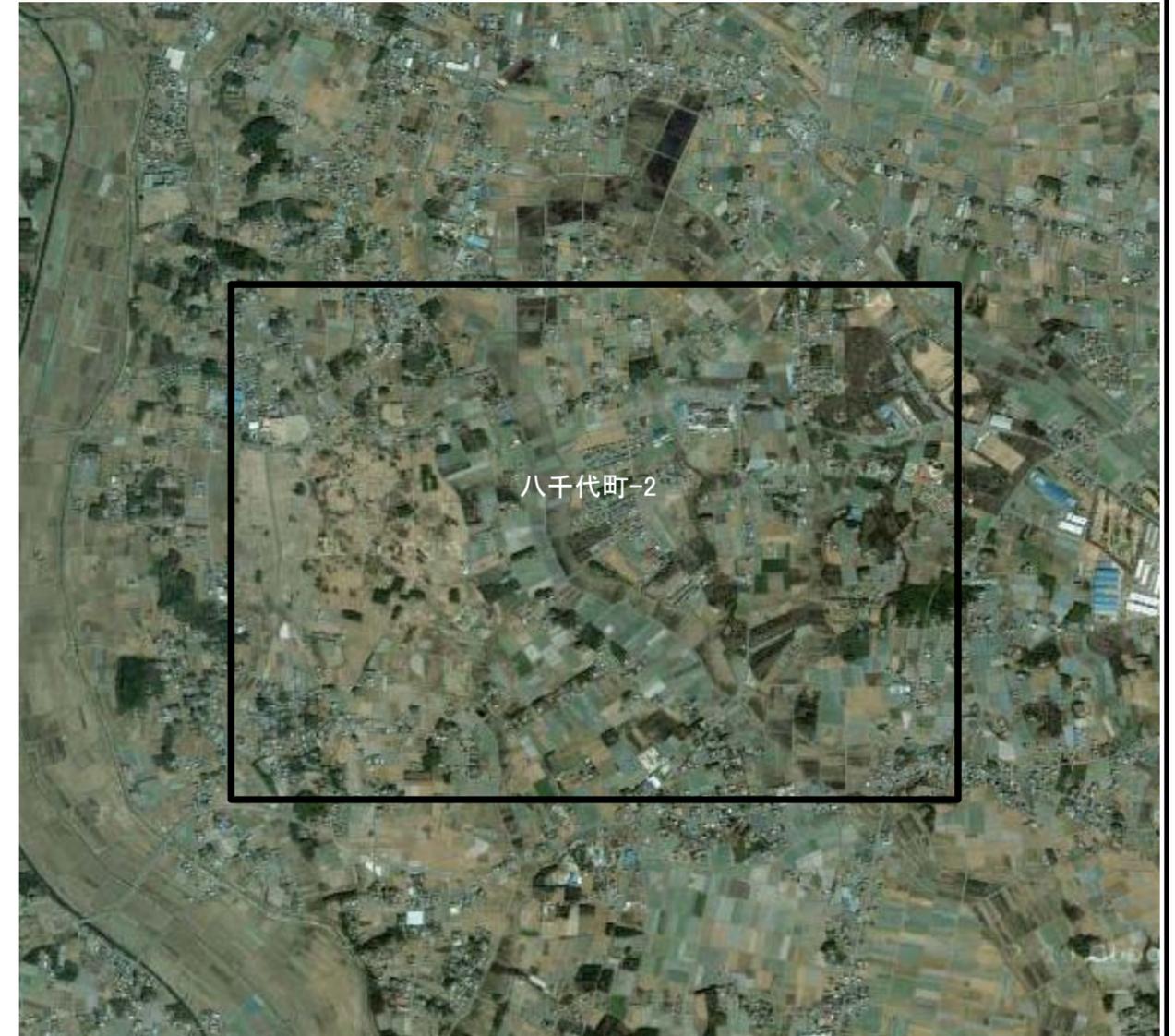


箇所名	八千代町-2	都道府県	茨城県	市区町村	八千代町	地区	平塚	2/6
発生面積	小	地形分類	旧河微高地	液状化発生履歴	液状化発生の履歴なし			
土地改変履歴	旧河微高地を造成した水田							
被害概要	地表面の亀裂、噴砂							
噴砂の状況	小	地盤の変形量(沈下、傾斜)	小			被害の程度	小	
出典・調査	東北地方太平洋沖地震による関東地方の地盤液状化現象の実態解明委員会							

日本の液状化履歴マップ745-2008(若松加寿江著)

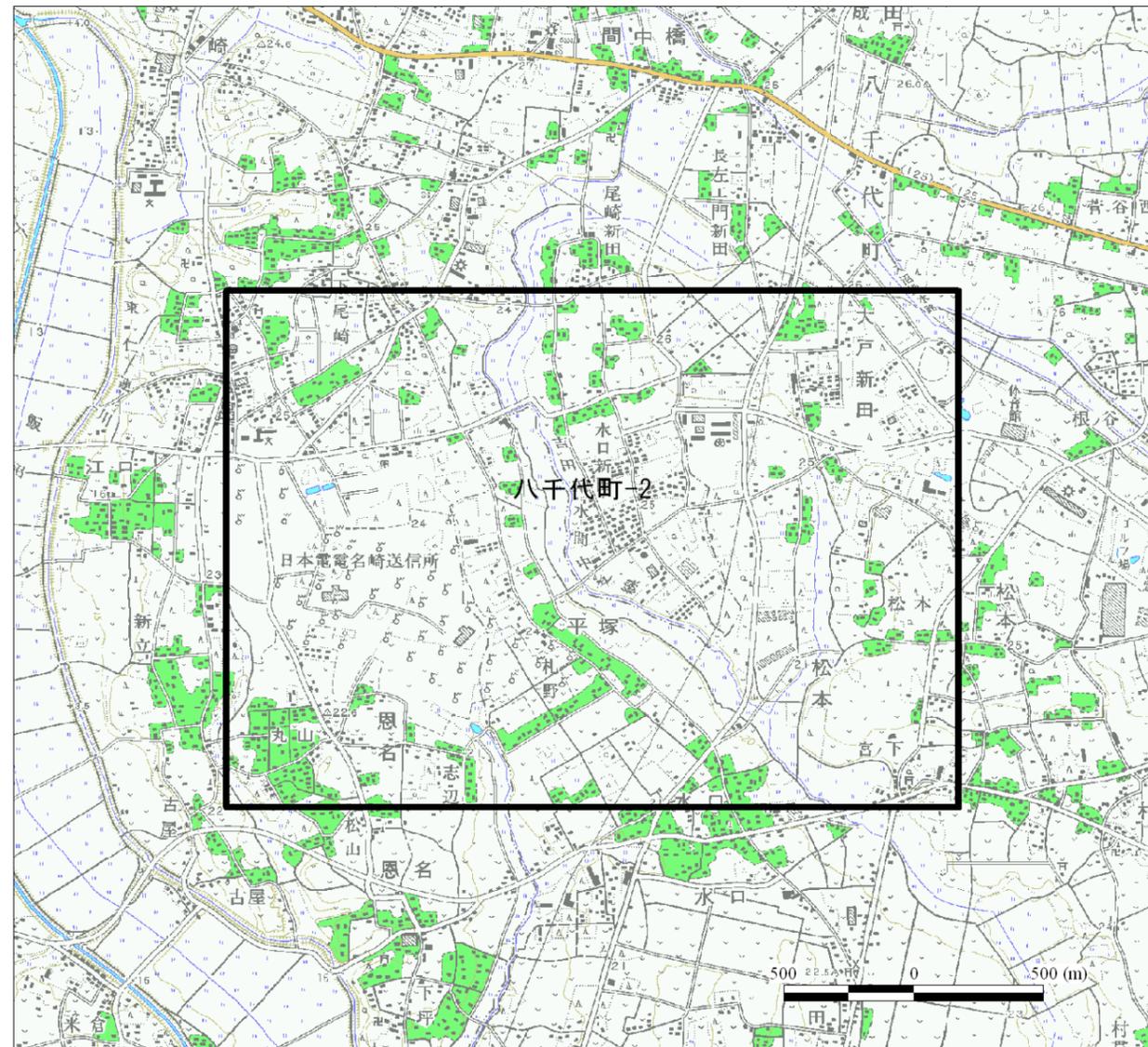


航空写真(googleマップ2005/3/27版)

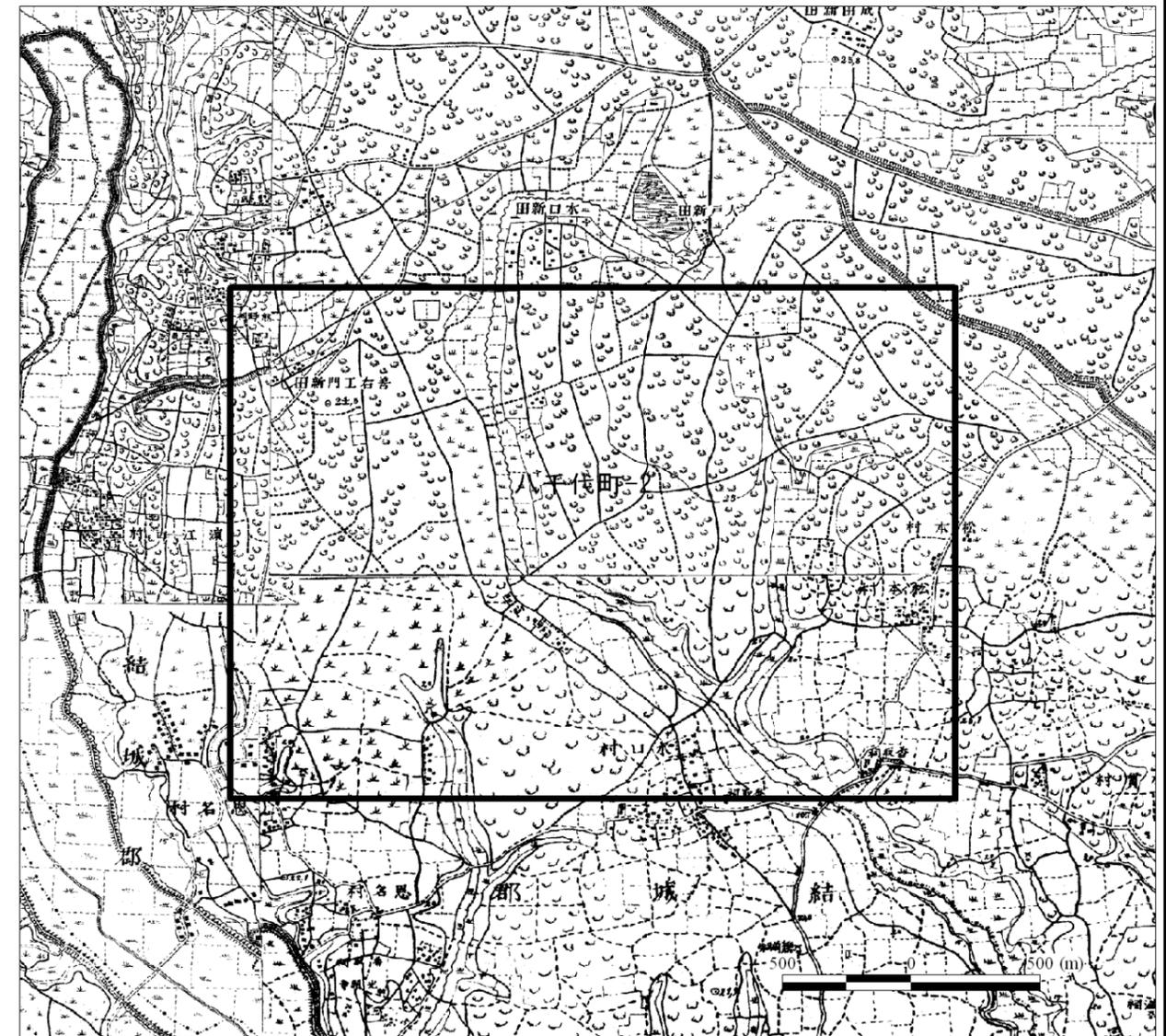


箇所名	八千代町-2	都道府県	茨城県	市区町村	八千代町	地区	平塚	3/6
発生面積	小	地形分類	旧河微高地	液状化発生履歴	液状化発生の履歴なし			
土地改変履歴	旧河微高地を造成した水田							
被害概要	地表面の亀裂、噴砂							
噴砂の状況	小	地盤の変形量(沈下、傾斜)	小			被害の程度	小	
出典・調査	東北地方太平洋沖地震による関東地方の地盤液状化現象の実態説明委員会							

地形図(数値地図25000)



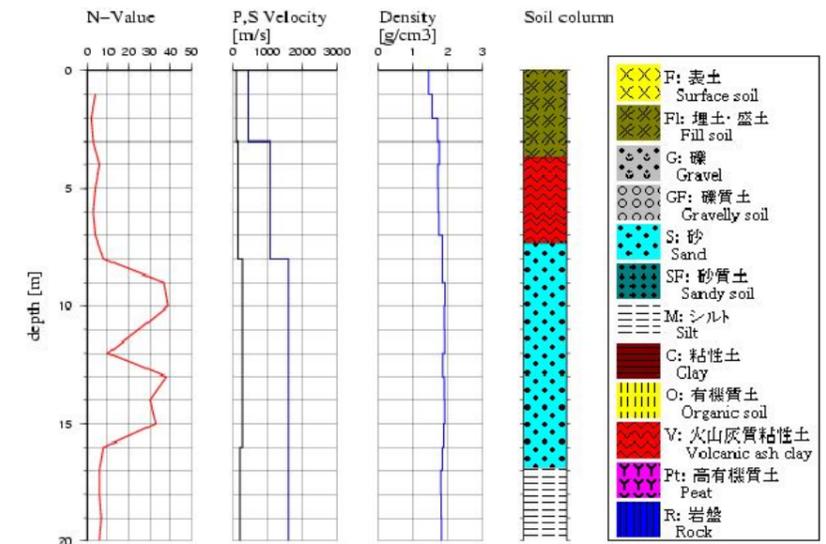
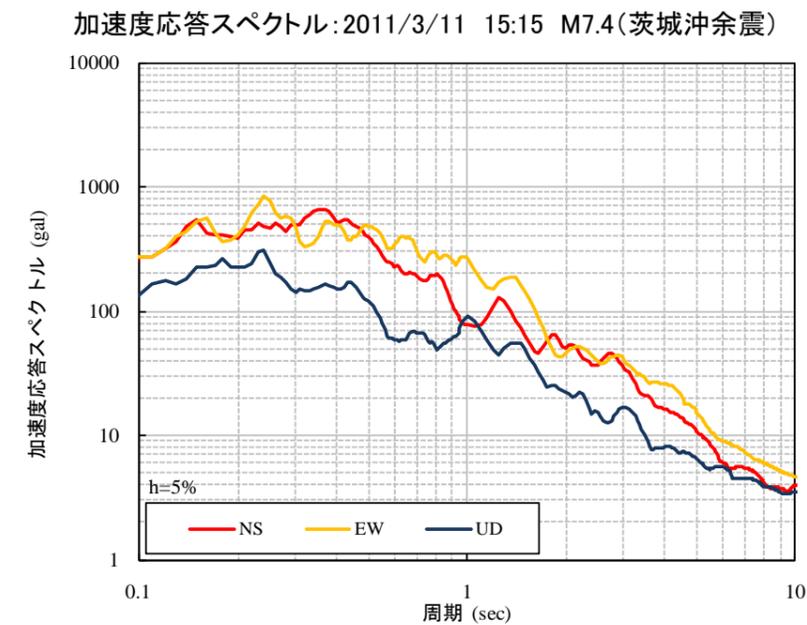
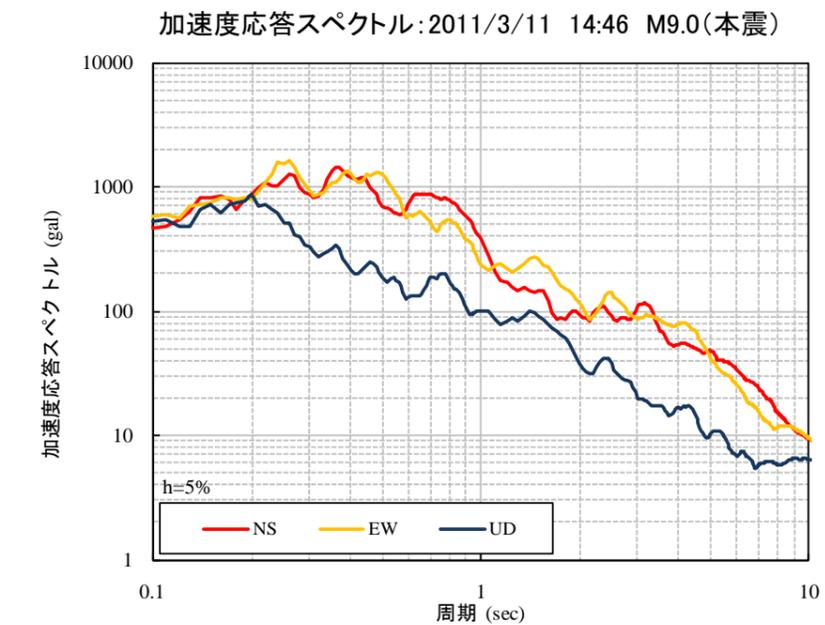
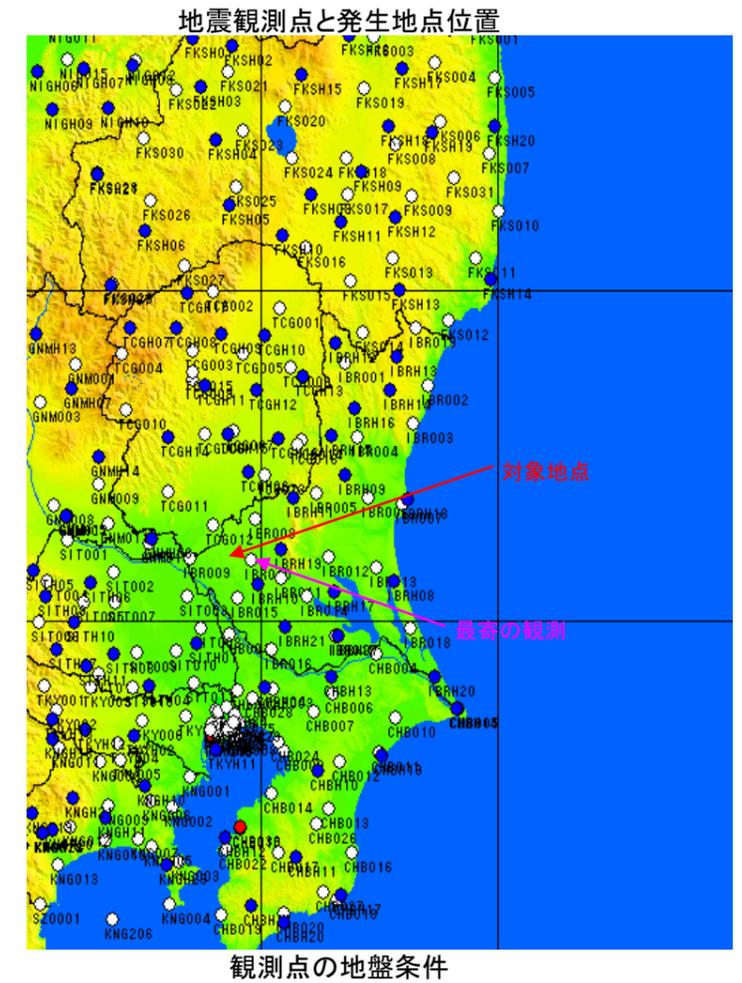
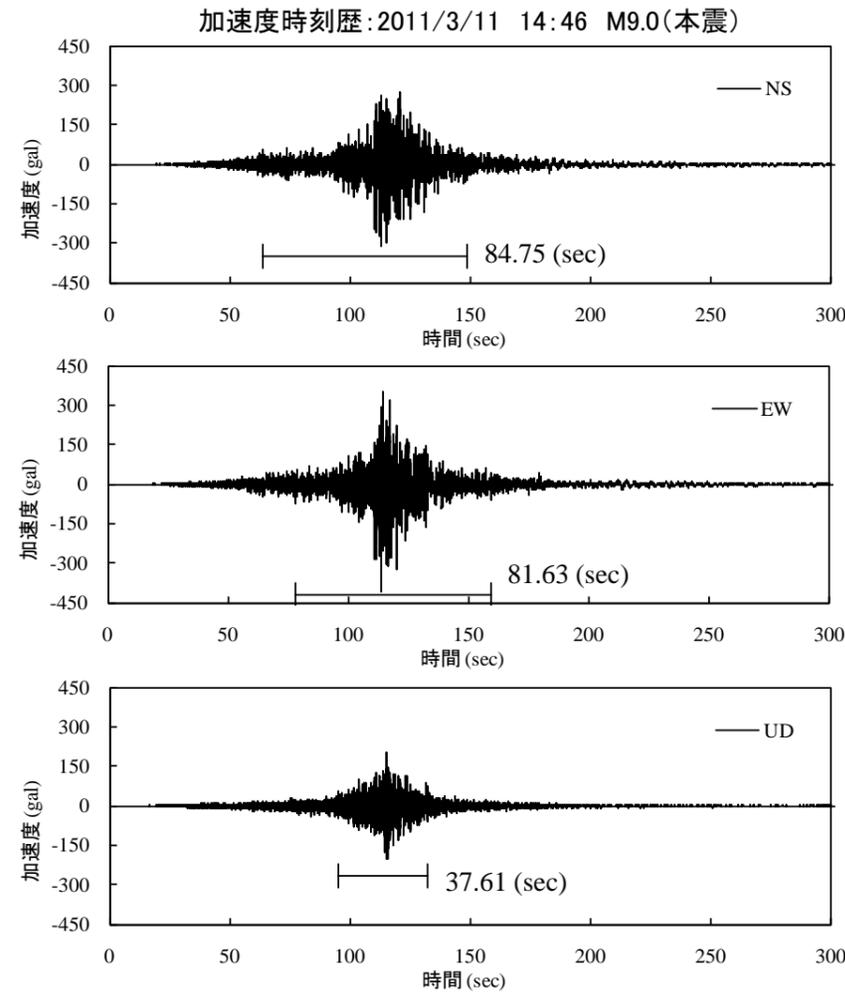
1/20000迅速図:明治16年測量



箇所名	八千代町-2	都道府県	茨城県	市区町村	八千代町	地区	平塚	4/6
地下水位	液状化対象層(層厚、深度)							
湿潤密度 ρ_t	平均粒径D50		細粒分含有率FC		塑性指数Ip			
平均N値	液状化強度RL20		S波速度Vs		相対密度Dr			
液状化抵抗率F	適用基準		液状化指数PL					

地盤データ未入手

箇所名	八千代町-2	都道府県	茨城県	市区町村	八千代町	地区	平塚				5/6
対象地震	2011/3/11 14:46 M9.0(本震)	観測点	K-NET下妻(IBR010)	対象地点との距離(km)	9.8	最大加速度(gal)	436.1	最大速度(kine)	36.0	継続時間(50gal以上)(s)	84.75
	244.2						19.6		22.70		
注)最大加速度、最大速度の値は3成分合成値				気象庁震度(本震)	5強	出典	防災科学技術研究所HP				



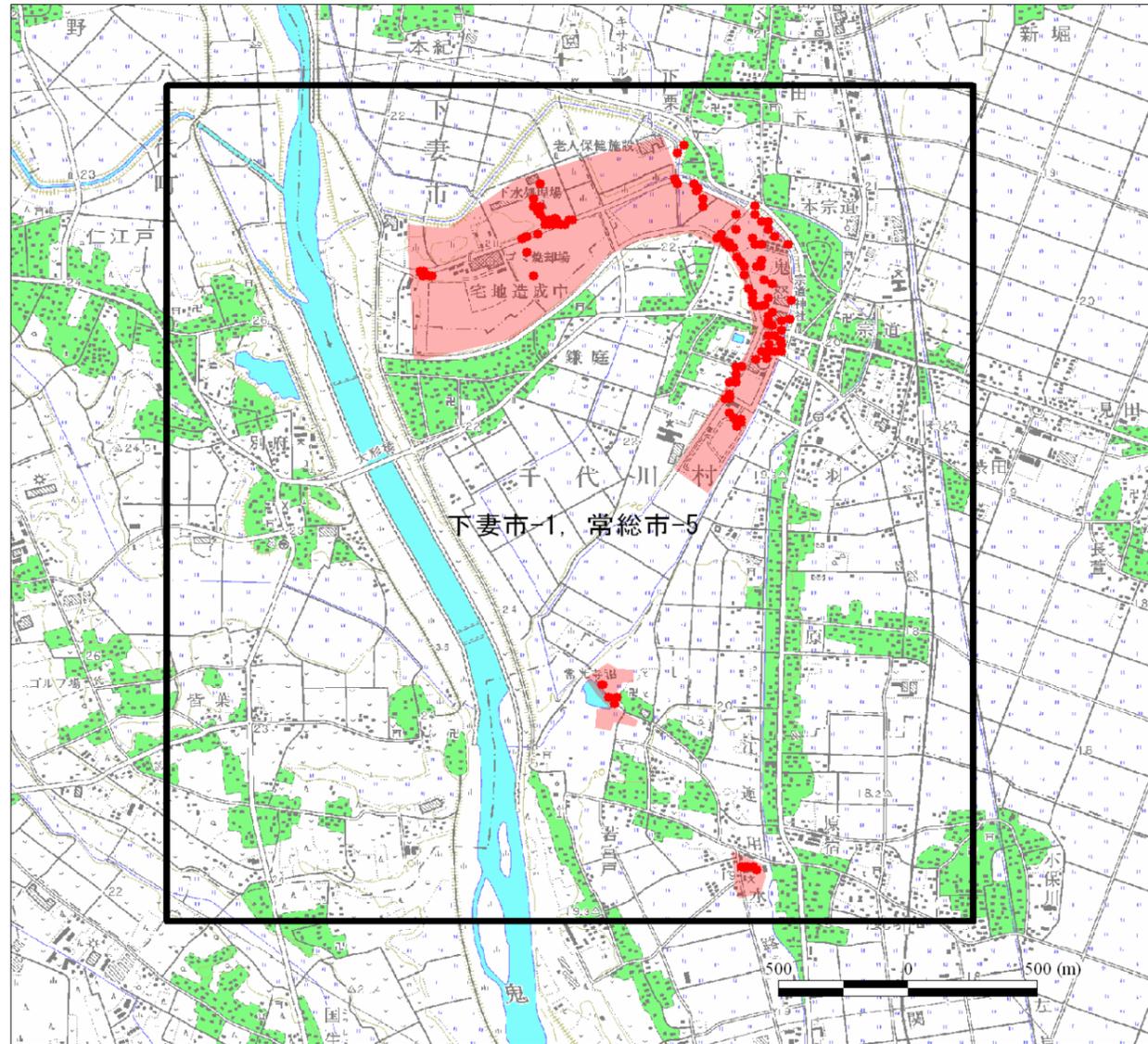
箇所名	八千代町-2	都道府県	茨城県	市区町村	八千代町	地区	平塚	6/6
発生面積	小	地形分類	旧河微高地	液状化発生履歴	液状化発生の履歴なし			
土地改変履歴	旧河微高地を造成した水田							
被害概要	地表面の亀裂、噴砂							
噴砂の状況	小	地盤の変形量(沈下、傾斜)	小	被害の程度	小			
出典・調査	東北地方太平洋沖地震による関東地方の地盤液状化現象の実態解明委員会							

先名重樹（防災科学技術研究所）2011/4/7～10

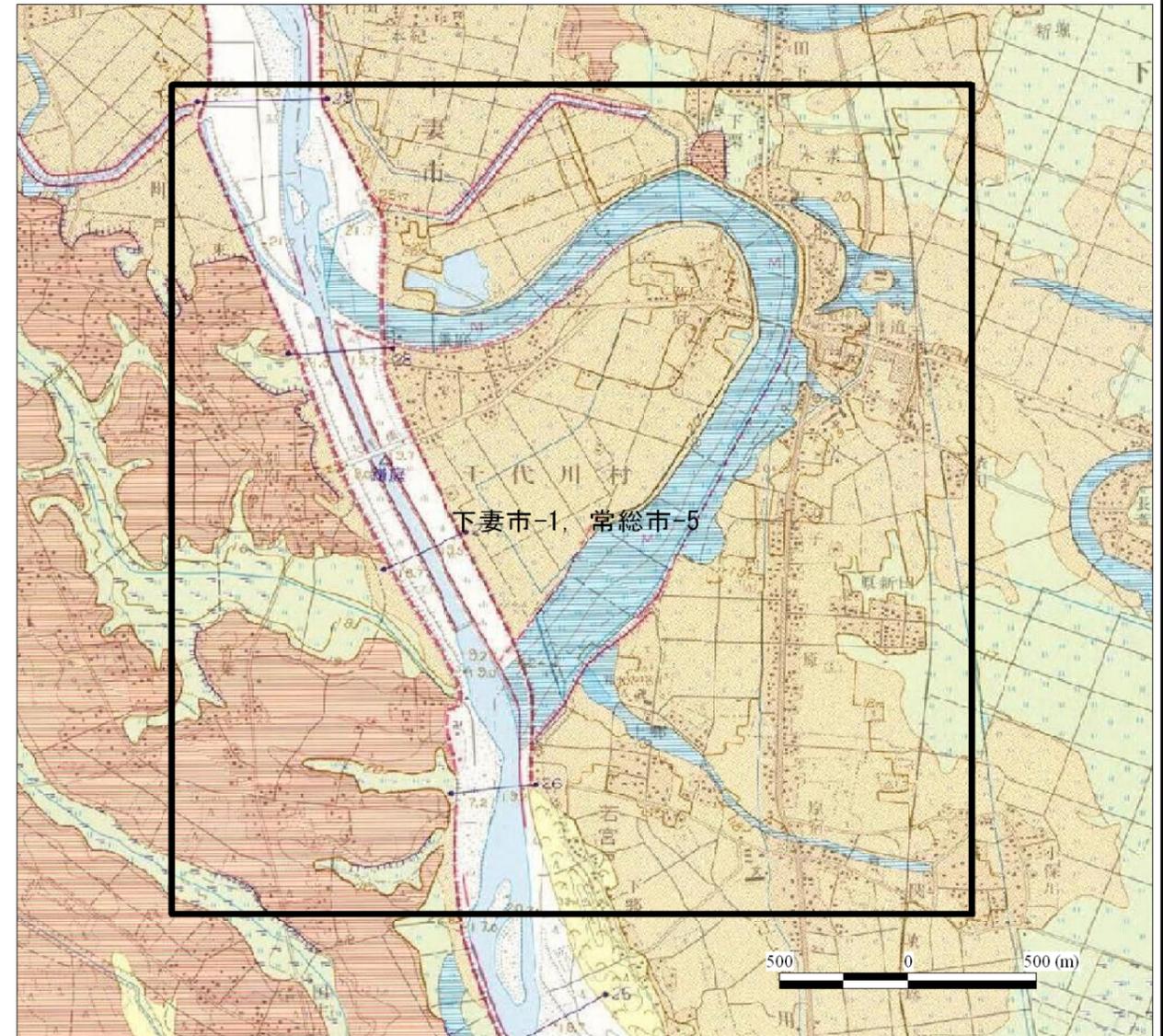


箇所名	下妻市-1, 常総市-5	都道府県	茨城県	市区町村	下妻市, 常総市	地区	下妻市鬼怒, 常総市若宮戸	1/6	
発生面積	大	地形分類	旧河道、自然堤防、ため池	液状化発生履歴	液状化発生の履歴なし				
土地改変履歴	1975年頃から旧河道の水田を造成して宅地化。水田を個別に宅地化した箇所もあり。下水処理場は旧自然堤防上の畑地を改変。								
被害概要	宅地盛土の沈下に伴う家屋の傾斜。道路の亀裂、段差。下水処理場では建物と地盤の不等沈下による段差が発生。								
噴砂の状況	大	地盤の変形量(沈下、傾斜)	大					被害の程度	大
出典・調査	東北地方太平洋沖地震による関東地方の地盤液状化現象の実態解明委員会								

平面図 (赤色は液状化、青色は非液状化を示す。面的着色は、専門家が現地調査結果に地形・地質情報等を加味して、その範囲を推定したものであり、その境界位置は厳密なものではない)

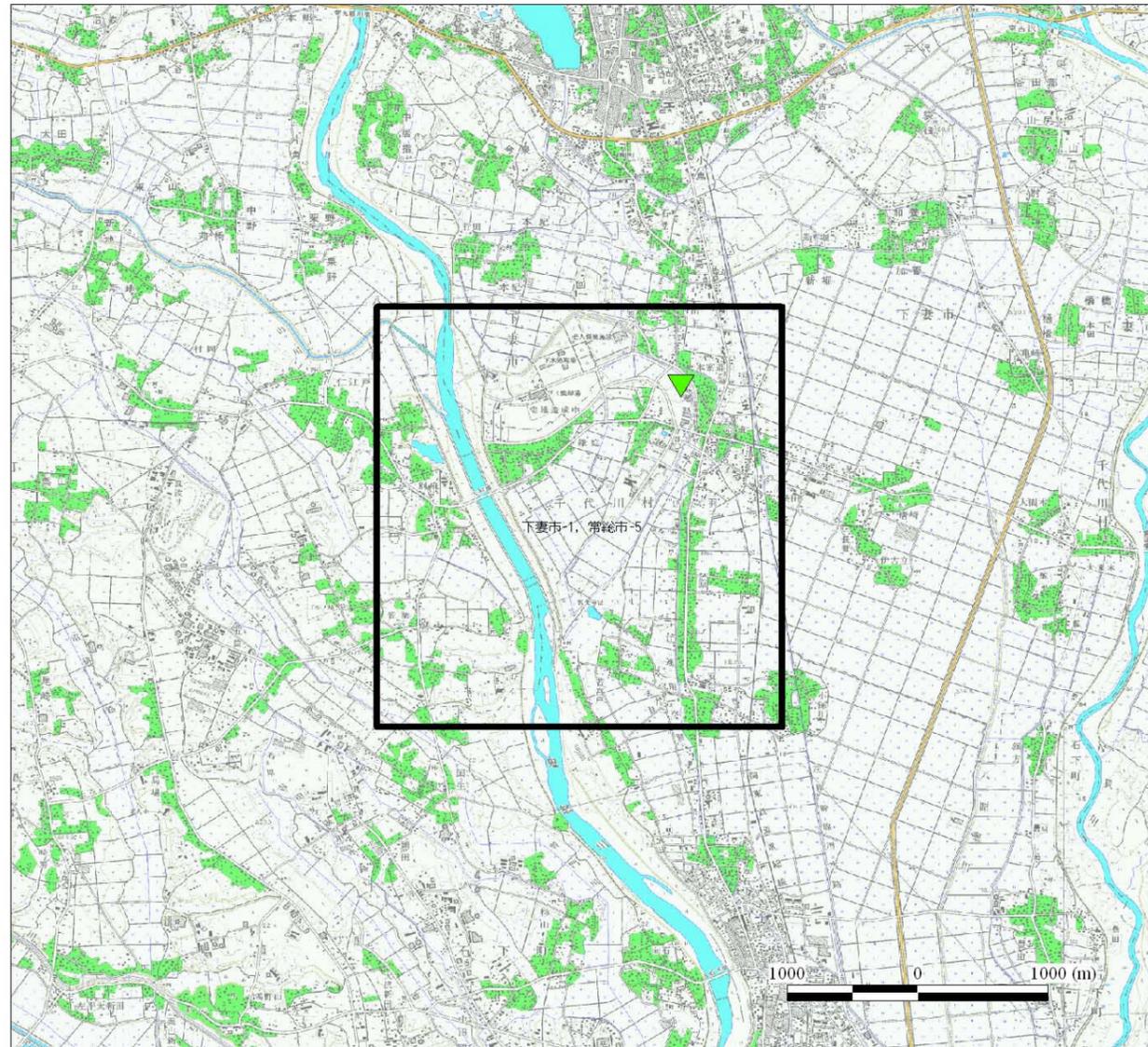


治水地形分類図



箇所名	下妻市-1, 常総市-5	都道府県	茨城県	市区町村	下妻市, 常総市	地区	下妻市鬼怒, 常総市若宮戸	2/6	
発生面積	大	地形分類	旧河道、自然堤防、ため池	液状化発生履歴	液状化発生の履歴なし				
土地改変履歴	1975年頃から旧河道の水田を造成して宅地化。水田を個別に宅地化した箇所もあり。下水処理場は旧自然堤防上の畑地を改変。								
被害概要	宅地盛土の沈下に伴う家屋の傾斜。道路の亀裂、段差。下水処理場では建物と地盤の不等沈下による段差が発生。								
噴砂の状況	大	地盤の変形量(沈下、傾斜)	大					被害の程度	大
出典・調査	東北地方太平洋沖地震による関東地方の地盤液状化現象の実態解明委員会								

日本の液状化履歴マップ745-2008(若松加寿江著)

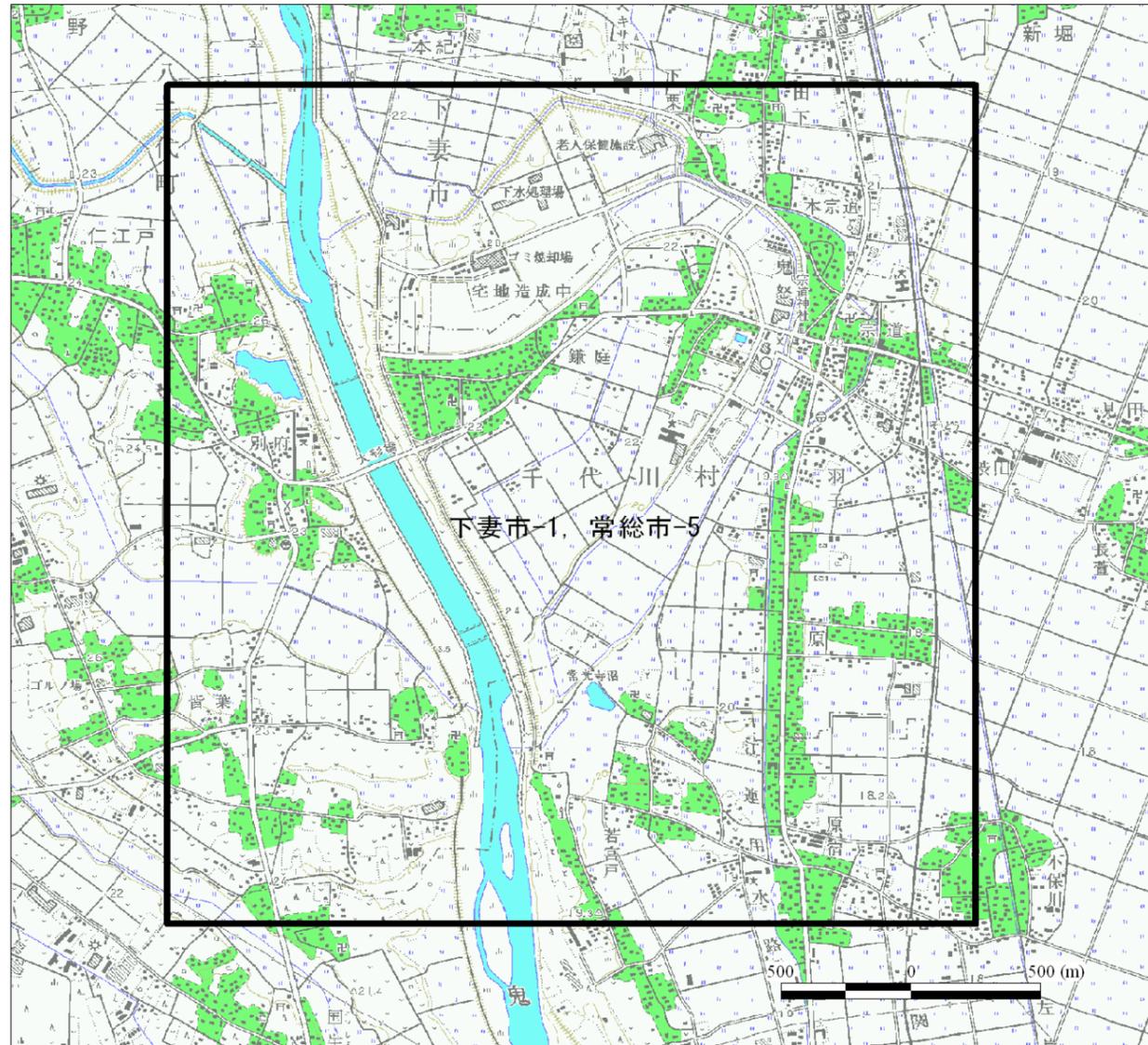


航空写真(2011年3月28日撮影)



箇所名	下妻市-1, 常総市-5	都道府県	茨城県	市区町村	下妻市、常総市	地区	下妻市鬼怒, 常総市若宮戸	3/6
発生面積	大	地形分類	旧河道、自然堤防、ため池	液状化発生履歴	液状化発生の履歴なし			
土地改変履歴	1975年頃から旧河道の水田を造成して宅地化。水田を個別に宅地化した箇所もあり。下水処理場は旧自然堤防上の畑地を改変。							
被害概要	宅地盛土の沈下に伴う家屋の傾斜。道路の亀裂、段差。下水処理場では建物と地盤の不等沈下による段差が発生。							
噴砂の状況	大	地盤の変形量(沈下、傾斜)	大	被害の程度	大			
出典・調査	東北地方太平洋沖地震による関東地方の地盤液状化現象の実態解明委員会							

地形図(数値地図25000)

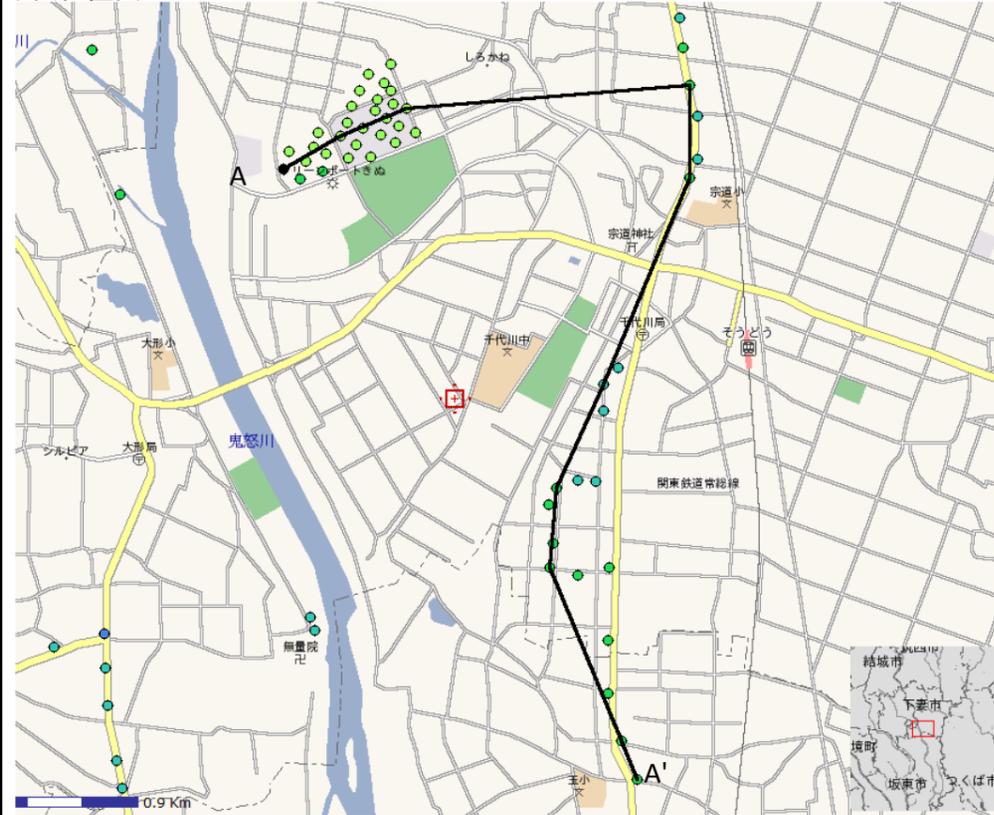


1/20000迅速図:明治17年測量



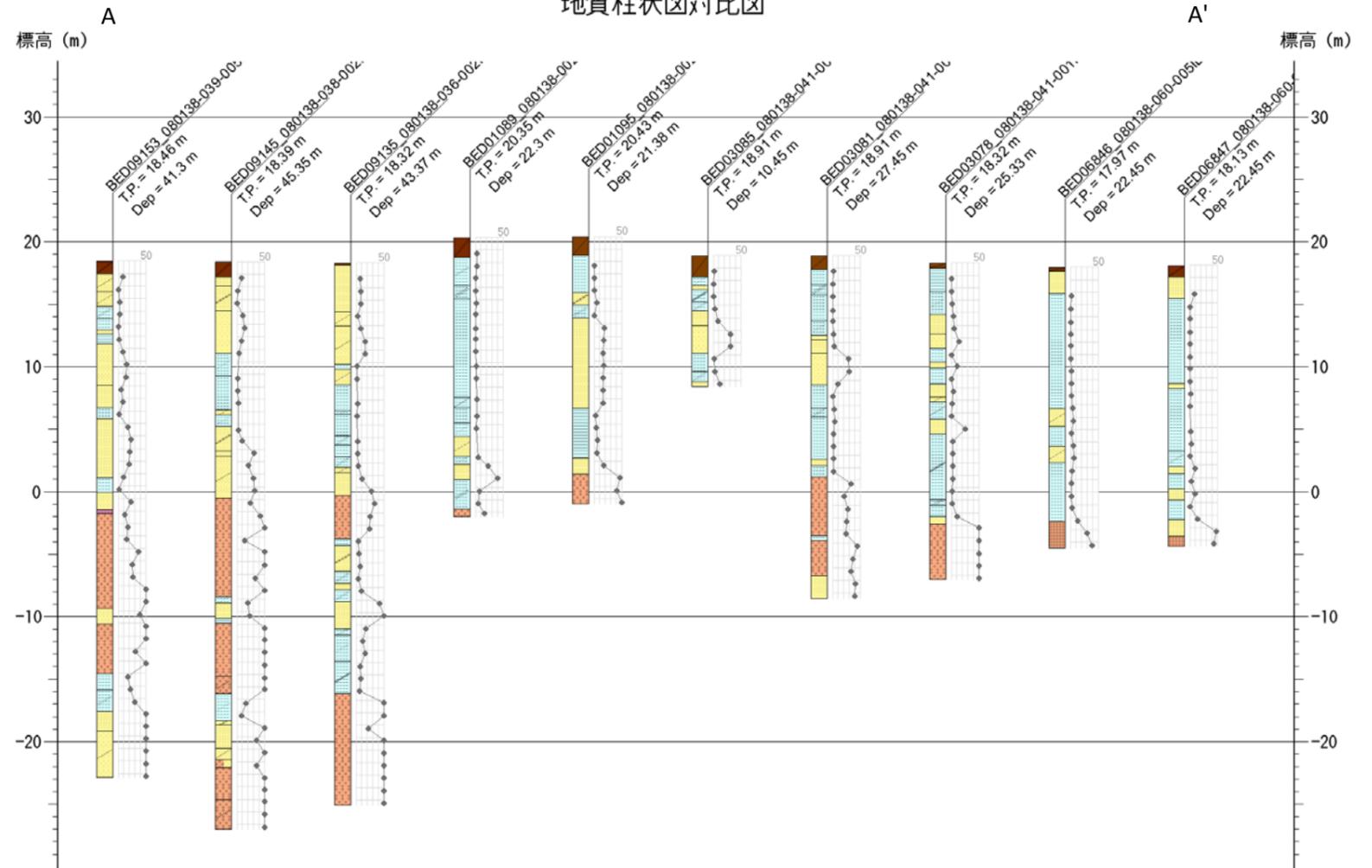
箇所名	下妻市-1, 常総市-5	都道府県	茨城県	市区町村	下妻市、常総市	地区	下妻市鬼怒, 常総市若宮戸	4/6
地下水位	GL-0.53~3.1m	液状化対象層(層厚、深度)	Bs,As,Asc GL-0~14m(層厚2~10m)					
湿潤密度 ρ_t		平均粒径D50		細粒分含有率FC		塑性指数Ip		
平均N値	0~20	液状化強度RL20		S波速度Vs		相対密度Dr		
液状化抵抗率F		適用基準		液状化指数PL				

平面位置図

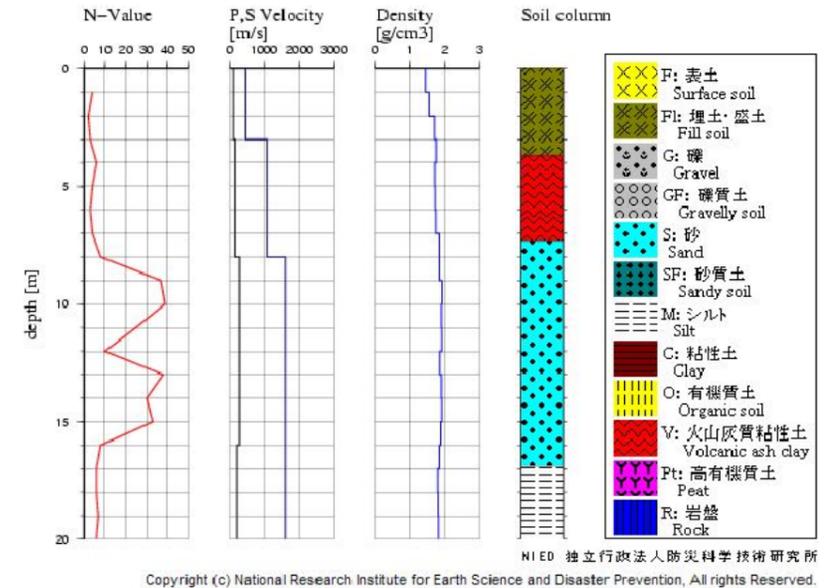
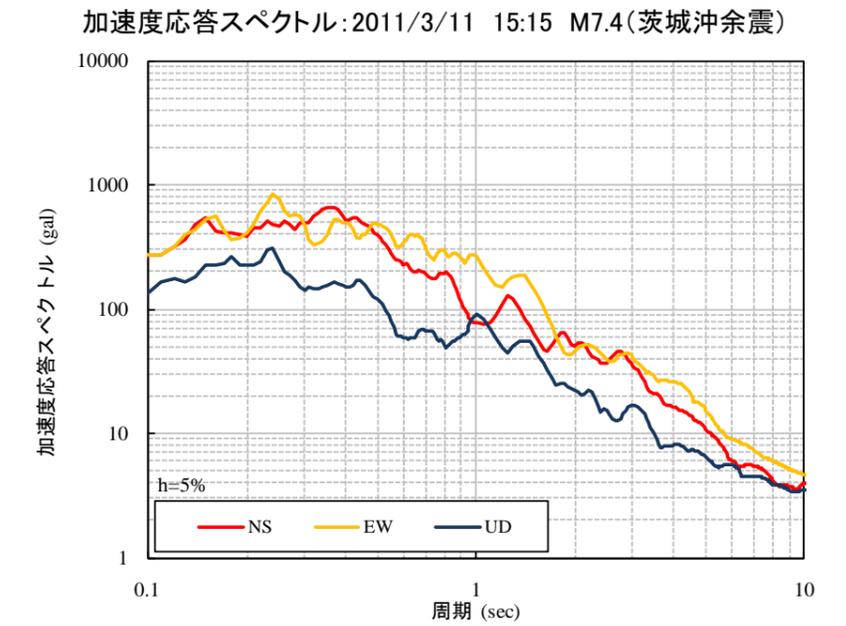
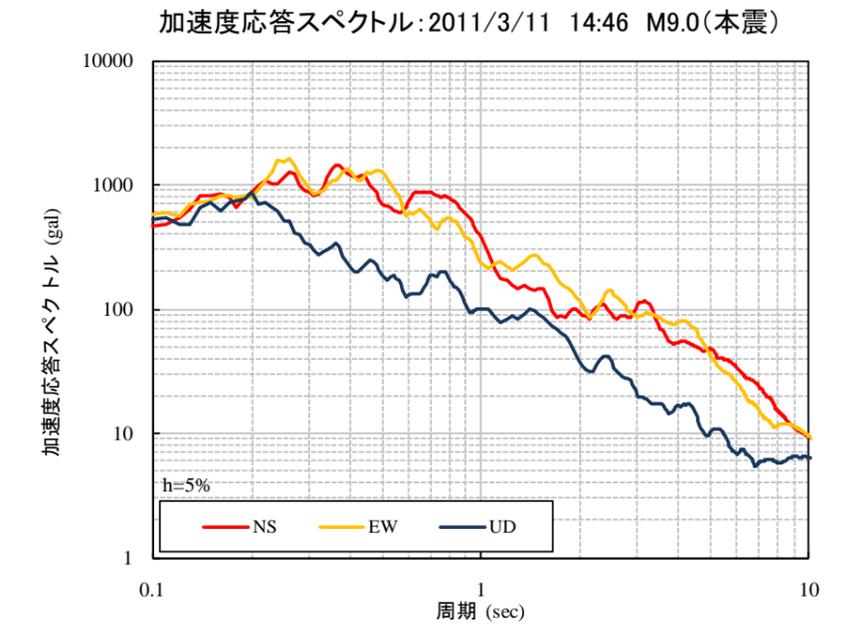
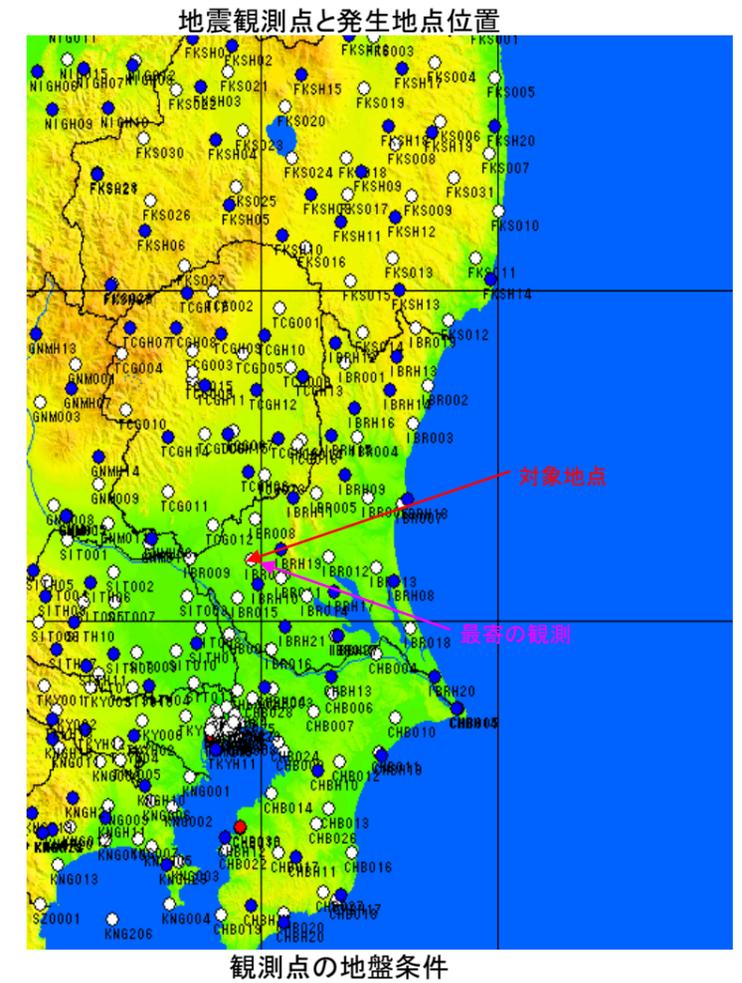
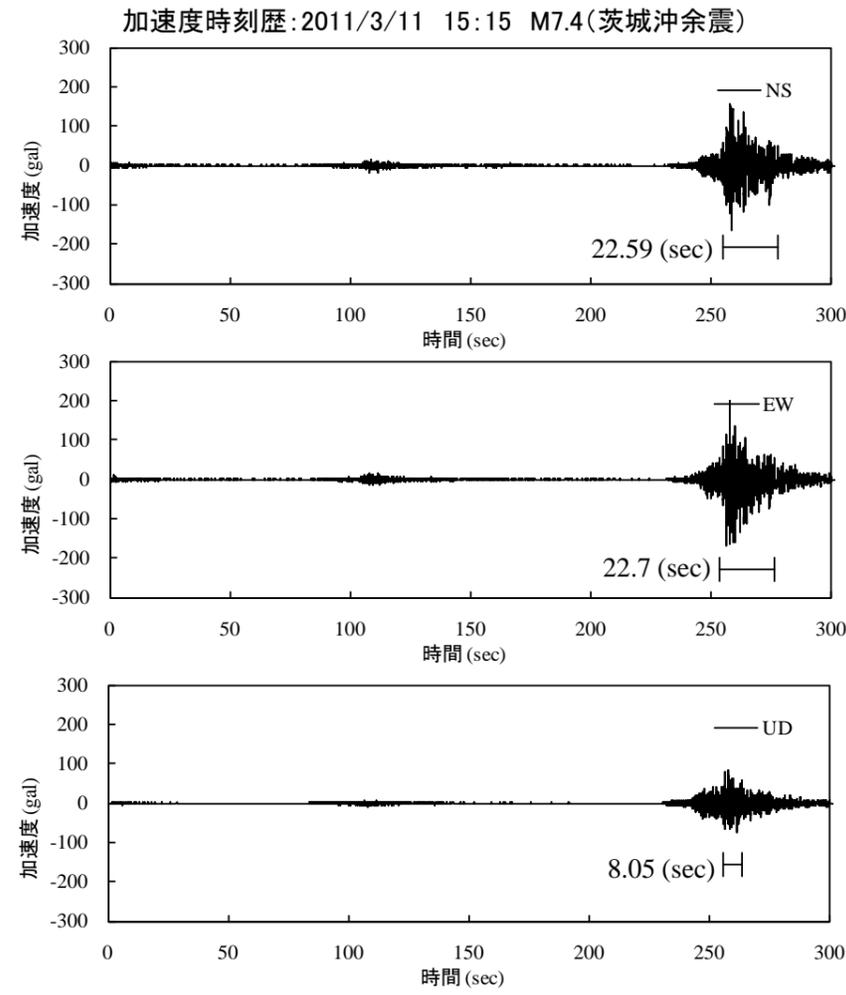
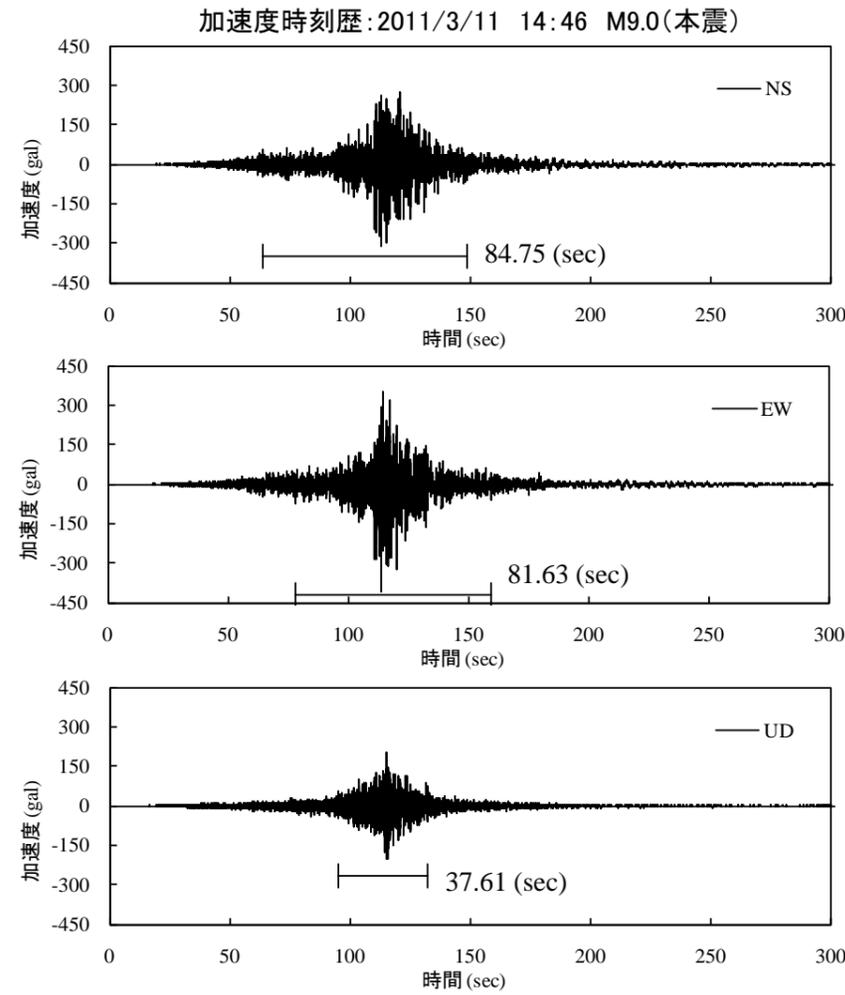


出典: 防災科学技術研究所ジオステーション

地質柱状図対比図



箇所名	下妻市-1, 常総市-5	都道府県	茨城県	市区町村	下妻市、常総市	地区	下妻市鬼怒, 常総市若宮戸	5/6			
対象地震	2011/3/11 14:46 M9.0(本震)	観測点	K-NET下妻(IBR010)	対象地点との距離(km)	4.0	最大加速度(gal)	436.1	最大速度(kine)	36.0	継続時間(50gal以上)(s)	84.75
	244.2						19.6		22.70		
注)最大加速度、最大速度の値は3成分合成値				気象庁震度(本震)	5強	出典	防災科学技術研究所HP				



箇所名	下妻市-1, 常総市-5	都道府県	茨城県	市区町村	下妻市, 常総市	地区	下妻市鬼怒, 常総市若宮戸	6/6
発生面積	大	地形分類	旧河道、自然堤防、ため池	液状化発生履歴	液状化発生の履歴なし			
土地改変履歴	1975年頃から旧河道の水田を造成して宅地化。水田を個別に宅地化した箇所もあり。下水処理場は旧自然堤防上の畑地を改変。							
被害概要	宅地盛土の沈下に伴う家屋の傾斜。道路の亀裂、段差。下水処理場では建物と地盤の不等沈下による段差が発生。							
噴砂の状況	大	地盤の変形量(沈下、傾斜)	大			被害の程度	大	
出典・調査	東北地方太平洋沖地震による関東地方の地盤液状化現象の実態説明委員会							

先名重樹 (防災科学技術研究所) 2011/4/7~10

鬼怒周辺

下水処理場

